

## ▲△△ 憧れの槍ヶ岳へ ▲△▲

1・7

日本百名山の番組で槍ヶ岳を見た時に「あの穂先にはとてもじゃないけれど登ることはできない！」と思ったけれど、何度も見ているうちに「もしかしたら行けるんじゃない?」、  
「行ってみたい!行きたい!」となり、「還暦の誕生日をあの穂先で迎えよう」と出かけたのですが・・・。

### 【1日目 上高地～横尾】

台風10号も無事に過ぎお天気は安定!のはずが直前になってどンドン下り坂になり、上高地に着いた途端いきなり雨。レインスタイルでのスタートとなる。

今日の宿泊地の横尾まではほぼ平坦な道ので3時間半。雨脚が弱まったのを見て足早に進んでいく。明神からの穂高神社奥宮の参拝も途中で咲く花々の写真も最小限にとどめたせい横尾には2時間半ほどで到着する事ができた。

今日の宿は横尾山荘。お風呂があるのでレインウェアを着てかいた汗を流すことができて良かった。またお天気のせいもあるだろうが混んでおらず一人1枚の布団を確保できた。

### 【2日目 横尾～ヒュッテ大槍】

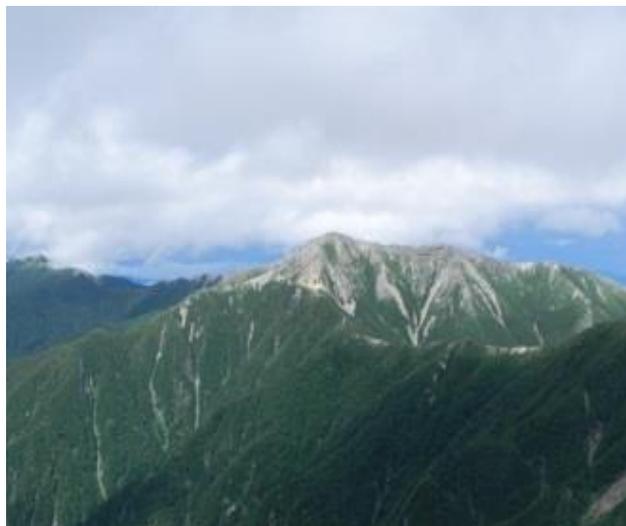
今日も天気は期待できない。予報では午前中には雨になる見込みのため、レインパンツとザックカバーをつけて出発する。まだ登りもきつくなく、時々青空ものぞき道端の花々の写真を撮ったり沢の音に耳を傾け気持ちよく歩いて行くと木立の中に槍沢ロッジが現れた。ここで朝ごはん代わりに受け取ったパンや野菜ジュースのお弁当を食べる。

しかし、大曲の手前付近で予定より早く雨が降り始めレインウェアを着ることになった。ここから傾斜が徐々にきつくなってきた。また雨脚も激しくなることもあり今までのように快適に進むことができなくなる。天狗原分岐を過ぎるころにはすれ違う人もなくなり人気の槍ヶ岳に向かっているのに歩いているのは私一人の状態だ。天気が良ければきっと素晴らしい景色が目に入ってくるだろうが、今の自分はただ前進あるのみだけだった。坊主岩屋下からは岩のゴロゴロした登山道になる。目印の白ペンキを探しながら風雨にさらされ登ること1時間弱、ようやくヒュッテ大槍にたどり着いた時には涙が出るほど嬉しかった。

受付を済ませ、着替えをし昼ごはんのカレーを食べようやく一息つくことができたが、外は相変わらずものすごい天気だった。激しく降る雨と吹き荒れる風によくここまで来られたものだと思うと同時に、山の天気への恐ろしさを感じずにはいられなかった。食堂で今日の宿泊者と天気予報を見ながら明日の登頂はどうなるだろうと話しているといつの間にか雨が上がったので小屋の外に出てみると、風はまだ強いものの燕岳から常念岳、槍の北鎌尾根などがきれいに見え、一人はしゃいでしまった。特に間近で見た北鎌尾根の険しさが印象的だった。

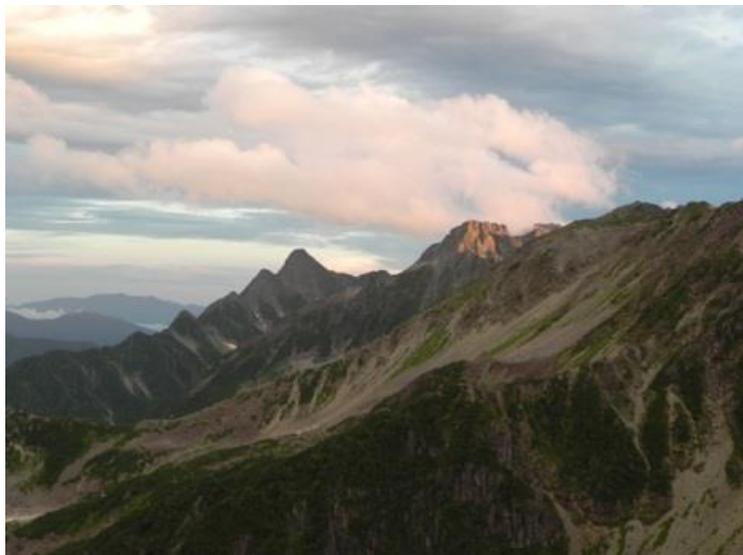
しかし肝心の槍の穂先だけは雲がかかってしまい見る事ができなかった。何回か雲が姿を現しそうになりそのたびに外に飛び出したのだが・・・。

さて本日泊まるヒュッテ大槍は以前から泊まっていたかと思っていた小屋だ。楽しみは夕食のワイン。お酒に強いわけではないが、残さず飲みき



ってしまった。

夕食時、小屋のオーナーの食後には槍の穂先が顔を出さだろうの言葉通り、外に出てみると目の前に槍の穂先がドーンと！ 月初めに燕岳から見た時の何倍も大きな穂先に夢中でカメラのシャッターを押し続けてしまった。また前穂高と北穂高もきれいに見ることができた。



### 【3日目 ヒュッテ大槍～徳沢園】

朝になっても風は吹き荒れていた。雨も昨日ほどではないが降っている。やっぱり登頂は無理のようだ。しかし、万が一と言うこともあるのかもしれないので槍の肩まで行こうか迷っていたが、オーナーの稜線は危険の言葉に下山を決める。

一緒に泊まった3人組の後ろについて昨日来た道を気をつけて歩いて行く。昨日、登る時に歩きづらかったのでストックを使わなかったが、下りにはあった方が楽だったかも。坊主岩屋下まで来ると雨も止んできたので、昨日取れなかった花の写真を撮ることにし自分のペースで歩くことにした。天気が良ければ槍ヶ岳の山頂に登りその後は南岳まで行き天狗原を経由して槍沢ロッジに泊まる予定だったが、さてどうしようと考えながら歩いて行くうちに槍沢ロッジに着いてしまった。時間はまだ9時半。いくらなんでも早すぎる。

こうなれば徳沢か明神あたりで泊まるか、いっそ上高地まで下りてしまおうかと考える。結局、徳沢まで下りて昼食をとった時に徳沢園で宿泊できるか聞くと空きがあるとのこと。迷っていると土砂降りの雨になり、これ以上濡れるのはご免だったので宿泊を決める。

徳沢園は氷壁の宿として有名で、館内至る所に写真や資料があった。山小屋と言うよりホテルに近い施設と感じた。ここでも手続き後すぐお風呂に入ることができ、疲れた体を癒すことができた。また乾燥室もこの時点では空いており、温風も強かったので濡れた衣服やザックもしっかり乾かすことができた。部屋は相部屋とはいえ個別に仕切られているので快適に過ごすことができた。食事もなかなか豪勢で泊まって良かったと思える宿だった。

### 【4日目 徳沢園～上高地】

今日は上高地まで下るだけ。できればもうレインウェアは着たくないと思ったので徳沢園でビニール傘を購入する。ザックカバーをつけ雨脚の弱まったのを見て歩き始める。明神で初日に行けなかった穂高神社の奥宮に参拝しそのまま自然探勝路を歩いて河童橋に向かう。途中、岳沢から下りてきた女性に声をかけると御年84歳とのこと。ソロで岳沢小屋に泊まってきたと聞いてまたまたビックリ。ご自分

のペースでしっかり歩く姿を見て自分もこうありたいものだと思った。アルペンホテルのお風呂まで一緒した。

上高地B Tに一度行きザックを預け、その後はバスの時間まで上高地観光と洒落込んでみた。1日遅れの誕生日祝いを五千尺ホテルのケーキで祝いまた来年ここに来られることを楽しみに今回の山旅を終了した。

(了)